

第2日 1月25日(土) 午後部

(18) 理科部会 (中・高)		部会テーマ	教科の専門性を磨いて、新たな学びへと進化を目指す
内 容	これからの社会を生き抜く子どもたちには、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現していく力が必要である。学習指導要領の改訂に込められたこの願いを実現するため、新学習指導要領のポイントや、授業実践例などを共有しながら、教科の専門性を磨き、授業の創意工夫や改善を考える。		
司 会 者	総合教育センター	小野 勝	
記 録 係	総合教育センター	大高 裕一	企画・会場係 総合教育センター 齊藤 真史

実践発表1 生徒が学習したことを活用して、他者へ説明ができる理科学習指導

～生徒が「新たな疑問」をもつことを通して～

真岡市立中村中学校 櫻井 和洋

理科の学習指導において、「新たに疑問」をもつことは大切である。導入での演示実験やワークシート・レポート等の工夫により、生徒に「新たな疑問」をもたせ、その疑問に対する自分の考えを表現できるようになった実践事例を報告する。

実践発表2 「教科指導体制研究」(2年間の取組)

～探究活動を軸にした指導体制づくり～

県立小山高等学校 高森 輝和
県教委事務局高校教育課 高橋 伸輔

高大接続の動きが進む中、高等学校教育の一層の改革が求められている。そのような流れを踏まえた本校での、新たな学びに向けた指導体制強化事業「教科指導体制研究」における2年間の取組を報告する。

研究協議

授業改善の実践における課題とその解決に向けて

全体協議

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」

～教科間の連携を図る～